

～ にぎわいフェスタ及び商店会MAP作成事業 ～

住民参加型のにぎわいフェスタを開催。一芸コンテストなどを行ってファミリー層からお年寄りまで楽しめるイベントとした。さらに商店街マップの作成を行い、個店の認知度を高めた結果、通行量の増加などの効果に結びついている。

所在地：茨城県取手市東6-70-14
 TEL：0297-74-3595 FAX：0297-74-2447
 URL：<http://www.geidaidoori-shoutenkai.com/>

組合員数：37名
 商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

取手駅東口から東京芸術大学までの道路沿いに位置し、地域住民の生活ニーズに対応した近隣型商店街。これまでイベントとしては年1回のビンゴ大会を開催してきた程度であったが、都心への通勤者など若いファミリー層が増えてきたことに鑑み、地域特産物などによる景品を活用した「にぎわいフェスタ」を開催。イベントを通じて地域への愛着を強めていただくこと、及び商店会MAPの配布により商店会をもっと知っていただくことを事業の目的とした。



実施した事業の概要

①にぎわいフェスタ事業の開催

にぎわい演出のため、専用ステージ、音響装置などを設置し、住民参加の「一芸コンテスト」及び「ビンゴ大会」を実施した。入賞者には、地元産の農・漁業特産物を進呈した。また、商店会会員の飲食物の販売によるふれあいや、地元出身の芸大生による安価な芸術作品の展示即売会を行った。

今回のイベントでは特に若いファミリー層を意識し、会場に子供達を楽しめる遊具「ふわふわドーム」を設営するとともに、「ポニーの試乗会」を行った。

また、イベントを盛り上げるため、スタッフ全員がお揃いのジャンパーを着用した。

②商店街MAP

従来、商店街MAPが存在しなかったことから、若いファミリー層には商店街の各店舗の業務内容が認知されていない部分もあったと思われる。そこで、商店主の素顔なども記載した、地域住民に愛着を持たれる店舗紹介MAPを作成した。



成果と成功の要因



今回取り組んだこれまでにない多彩なイベントや、商店街MAPを作成・配布したことにより、地域住民の中でも特に若いファミリー層などに対し商店会の認知度を高めることができた。これにより各商店での交流が活発になるとともに、売上の増加につなげることができた。

事業が成功した要因としては、若手や後継者が率先して事業に取り組んでくれたこと、また、東京芸術大学や本願寺、取手市役所、商工会など地域にある教育機関や支援機関などのバックアップがあったことが挙げられる。

今後の取り組み

今回の事業が成功したことを踏まえ、今後も地域住民のニーズを反映させた事業を継続していくこととしている。

また、今回連携した東京芸術大学や本願寺とは継続的な連携関係を築き、来年度以降のイベントについても協力関係を維持していくこととしている。また、取手市や商工会との連携も行いつつ、資金面での支援も取り付けることで、事業活動のさらなる充実を図っていく予定である。